

適用規格		TÜV認定品 (R50079865) UL認定品 (E52653)				
定 格	使用温度範囲	-25℃ ~ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃		
	電 圧	AC, DC 125 V (TÜV) AC, DC 250 V (UL) 	電線サイズ	MAX AWG#16		
	電 流	10 A	適合ケーブル	φ7.3±0.2		
<b>性 能</b>						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構 造	外観, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 A で測定する。 ———— をDC — A で測定する。	5 mΩ以下 ———— mΩ以下	○	○	
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○	
	耐電圧	端子間、端子-シェル間にAC 1250 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○	
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	———— の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 ——— N以上	—	—	
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿抜力 30 N以下 (ロック機構を除く)	○	—	
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗: 10 mΩ以下 ———— の接触抵抗: ——— mΩ以下	○	—	
	耐振性	周波数10~55~10 Hz/サイクル, 振幅 0.75mm, 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
環 境 的 性 能	耐衝撃性	加速度 490m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸両方向各 3回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	コネクタ破壊強度	適合コネクタをカン合した状態で、ケーブルを上下左右方向に力を加える。	100 N以下でコネクタの破損が無いこと。	○	—	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40℃, 湿度90~95%中に96時間放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 分 を5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—	
	耐熱性	温度 +85℃中に 96時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐寒性	温度 -55℃中に 96時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で5±1 秒間リフト部へ当てる。	外観に変形及びコネクタなどに著しいガタがないこと。	○	—	
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で2~3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなしはんだはじき部分などの欠点のないこと。	○	—	
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で水深 1.8mに 48時間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—	
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部にエア圧17.6kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
	2	DIS-C-00003269	KN. IKEHARA	HN. TANAKA	20190614	
備考	試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512を適用している。(JIS C 5402)			承認	HY. KOBAYASHI	20180313
				検図	HY. KOBAYASHI	20180313
				担当	TY. SUZUKI	20180313
				製図	TY. SUZUKI	20180313
注	QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目	図番	SLC-114241-31-00			
	製品規格表		製品名	LF10WBP-4P (31)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL136-0006-5-31	 1/1	